

平成 30 年度 第 1 回朝倉市まちづくり審議会 議事概要

1. 会議概要

日 時	平成 30 年 10 月 5 日（金）19：00～20：30	
場 所	朝倉市役所 別館会議室	
出席者	委 員	出席：20 名 欠席：4 名
	朝倉市	副市長 事務局（総務部長、総合政策課 4 名）
	コンサル	ジャパンインターナショナル総合研究所
次 第	1. 開 会 2. 市長（副市長）あいさつ 3. 委員紹介 4. 会長・副会長選出 5. 会長・副会長あいさつ 6. 事務局説明 （1）朝倉市まちづくり審議会について （2）第 2 次朝倉市総合計画策定について （3）今後のスケジュールについて 7. その他 8. 閉会	
配布資料	（資料 1） 朝倉市まちづくり審議会条例 （資料 2-1） 第 2 次朝倉市総合計画策定方針 （資料 2-2） 基礎調査報告書 （資料 2-3） 市民意識調査（アンケート）結果報告書 （資料 2-4） 朝倉市総合計画基本構想目標数値 （資料 3） 第 2 次朝倉市総合計画策定スケジュール（予定） （別添資料） 第 1 次朝倉市総合計画（基本構想・前期基本計画） （別添資料） 第 1 次朝倉市総合計画（後期基本計画）	

2. 議事要旨

（2. 中野副市長あいさつ）

- ・市長は、災害関連の要望で上京しているため、代わりにごあいさつさせていただきます。
- ・この審議会は、市の最上位計画である第 1 次朝倉市総合計画が今年度で終了し、来年度からの第 2 次総合計画の策定にあたり、諮問する計画案に対し答申をいただくものである。
- ・本市は、昨年の豪雨災害に加え、今年 7 月の豪雨災害では県下でも最大の被害を受けた。災害復旧・復興が最優先だが、一方で人口減少対策、財政規律も堅持しなければならない。これら厳しい状況を踏まえた上で、合併後のさらなる一体感の醸成を図り、全ての世代が安心して暮らせる市の実現のため、次期総合計画は非常に重要である。

(4. 会長・副会長選出)

- ・会長に濱崎裕子氏、副会長に浅田榮一氏を選出

(5. 会長・副会長あいさつ)

(会長)

- ・建築都市計画、まちづくりが専門なので、少しでも皆様のお役に立てたらと思っている。
- ・市は、大変大きな課題である復旧・復興に取り組まれている。中長期計画の総合計画には、その災害復興も視野に入れながら審議していけたらと思うので、皆様の活発なご意見、ご議論をよろしくお願いします。

(副会長)

- ・台風が相次ぎ、収穫前の農家は大変気苦労しており、25号がそれてくれればと思っている。
- ・審議会では、皆様方の貴重なご意見を頂きながら、より良い朝倉市を目指していきたいと考えている。よろしくお願いします。

(6. 事務局説明)

(1) 朝倉市まちづくり審議会について

- ・質疑なし

(2) 第2次朝倉市総合計画策定について

発言者	質問概要	事務局答弁概要
1	10年後の目標数値の達成度は、いつ調査されたものか。状況が随分違うように感じた。例えば、ボランティアの数は増えているが、私の認識では減っている気がしている。	調査は、平成30年6月29日に行ったものである。 (企画政策係長)
	アンケート調査の回収率は約40%だが、男女別等の比率分析はされないのか。例えば、住み続けたいかどうかの項目もあるが、持ち家かどうかで状況は違うと思う。	アンケート調査は、男女別等のクロス集計しており、お示しすることはできる。 (企画政策係長)
2	中長期ビジョンの策定するにあたり、2-2の資料は、平成26年の人口や商工業、世帯数などの調査結果で、データが古い。これらを基に、計画は立てられるのだろうか。最新の資料に差し替えてはどうか。	数年に一回の調査もあり、中には古いデータもあるが、総合計画を策定する中で、出典データは最新のものを掲載したいと考えている。 本日、配布した資料2-2の基礎調査報告書は、現在、細かな部分の修正をかけており、修正後、あらためて配布する。 (企画政策係長)
3	アンケート結果は、パーセントを出しただけで、内容に対する考えなどはないのか。	今回、結果だけを示しており、どのように計画の中に盛り込むかは、基本構想、基本計画の中に記載していく形になる。それを皆様に見ていただく形になる。 (総合政策課長)
4	「買い物が便利だから住みやすい」と書いてあるが、一方で住みにくい理由に「買い物が不便だから」とあるが、どういうふうに捉えられているのか。	「住みやすい」と思った方は「買い物が便利だから」、「住みにくい」と思った方は「買い物が不便だから」という答えが返ってきたという、簡単な数字の結果で、それを分析して、どういう計画を立てるかになる。矛盾した結果に見えるが、そのように捉えられていると理解している。 (課長)

発言者	質問概要	事務局答弁概要
5	基礎調査報告書の中の観光客の入り込みについて、「三連水車の里あさくら」など、市外からの客が非常に多いが、なぜこれをカウントしないのか。	観光客の入り込み、広域的な視点については、計画策定の中で可能な限り実現していきたい。 今日は、ご要望として、受け取らせていただく。 (総合政策課長)
	朝倉市のまちづくりであっても、観光となると九州は一つという発想が必要である。総合計画も、広域についてあまり書かれていない。今後、広域の考え方の観点が必要だと思うので、考慮していただきたい。	
	観光産業ということで、インバウンド関連は非常に重要と感じている。どれだけ来られているか、調査の中で把握されているか。	
6	観光客の捉え方について、インバウンド関係では小学生や海外からの受け入れを行っているが、それは数値に含まれているのか。	県の入込観光客の調査に基づく数値を掲載しており、海外からの受け入れが反映されているかどうかの把握はしていない。 (係長)
	今年は、被災地支援ということで、観光客を呼び込み、消費を促す取り組みを行ってきた。その辺の数字は、どのように入っているか。そこまでは把握されていないのか。	
		調査が可能かどうかも含め、各所に当たっていききたい。 (総合政策課長)

(3) 今後のスケジュールについて

発言者	意見概要	事務局答弁概要
7	審議会の上段にある庁内策定委員会は、審議会より先行して開かれるが、そこでの情報は審議会に流されるのか。	基本的に、審議会にかけると案件を庁内策定委員会でたたく形になっているので、スケジュール上、策定委員会にかけた後に、審議会に諮るという関係性になっている。 (企画政策係長)

(7. その他)

(事務局)

・次回日程については、11 月上中旬ということで調整をさせていただきたい。

以上